



With コロナ、After コロナと向き合う観光を

柳川に着任して2年目を迎えました。今回は、柳川観光について振り返ってみようと思います。前職は旅行会社に勤務し、観光客を柳川へ引率する立場でした。最後に柳川を訪れたのは3年ほど前。海外からの観光客をはじめ、平日でも多くの人であふれていました。地域おこし協力隊となって、観光客を迎える立場として柳川の観光に携わり始めて、観光地柳川はいろいろな取り組みによって、九州でも有数の観光地として定着していることがよく分かりました。しかし、これまで以上に工夫を凝らしても、コロナ禍で従来の観光客数を維持することは難しい状況です。「With コロナ」、「After コロナ」というこれまでとは違う要素を加えなければ、満足いく集客はできません。こうした状況の中、「お雛様水上パレード」の開催について地域や関係者の皆さんに意見を尋ねてみると、開催を待ち望んでいることが分かりました。コロナ感染予防対策をしながら水上パレードを実施できたことで、柳川を少しだけ元気づけられたのではないかと思います。



竹下 政志 (49歳)

【プロフィール】市観光課に所属。観光プラットフォーム構築を担当